

卒 業 要 件
(27 期)

神学部神学科 卒業要件
〈神 学 コ ー ス〉

科目区分			必要 単位数	科目の履修方法
Ⅰ 専攻科目 (82単位)	(A)専攻 基礎科目	(1)専門基本部門	20	◎印の旧約概論 A/B、新約概論 A/B、キリスト教史概論 A/B、組織神学概論 A/B、実践神学概論 A/B は必修。
		(2)古典語学・外書部門	8	◎印のヘブライ語Ⅰ、ギリシア語Ⅰ は必修。
	(B)専攻 選択科目	(2)歴史神学部門	4	◎印のバプテスト史 A/B は必修。
		(6)特殊部門	4	◎印の卒業論文は必修。
	その他		46	専攻科目のいずれの部門から修得してもよい。
Ⅱ 共通科目 (46単位)	1 基幹 科目	(1)ライフデザイン領域 科目	4	◎印のキリスト教学Ⅰ/Ⅱ は必修。
		①外国語	12	必修又は選択必修外国語から、必修英語 4 単位に加え、その他 8 単位の計12単位を修得。ただし、学則別表第1の1「神学部神学科」に定める詳細要件も満たさなければならない。 ※具体的な履修方法については、注意 1 を参照すること。
		②データサイエンス科目	2	◎印の〔遠隔〕データリテラシーは必修。
		③スタディスキル科目	1	◎印の〔遠隔〕スタディスキルⅠ(基礎・学びの基本)は必修。
		④ヘルスリテラシー科目	1	◎印のヘルスリテラシーは必修。
	2 教養 科目	(1)人文科学	4	4単位以上修得。
		(2)社会科学	4	4単位以上修得。
		(3)自然科学	4	4単位以上修得。
	その他		14	共通科目のいずれの部門から修得してもよい。
卒業に必要な総単位数			128	—————

(注意)

1. Ⅱ 共通科目の①外国語からは、以下の 4 つのうち、いずれかの方法で単位を修得する必要があります。

①必修英語 4 単位 + 中級英語 4 単位 + 選択必修外国語 4 単位 (2 言語履修)

例 1 : 英語Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ + 中級英語Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ + フランス語初級Ⅰ/Ⅱ

例 2 : 英語Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ + 中級英語Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ + ドイツ語中級Ⅰ A/Ⅰ B/Ⅱ A/Ⅱ B

②必修英語 4 単位 + 中級英語 2 単位 + 選択必修外国語 6 単位 (2 言語履修)

例 : 英語Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ + 中級英語Ⅰ/Ⅲ + 中国語初級Ⅰ/Ⅱ・中級Ⅰ A/Ⅰ B

③必修英語 4 単位 + 選択必修外国語 8 単位 = 12 単位 (2 言語履修)

例 : 英語Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ + 韓国語初級Ⅰ/Ⅱ・中級Ⅰ A/Ⅰ B/Ⅱ A/Ⅱ B

④必修英語 4 単位 + 選択必修外国語 4 単位 + 選択必修外国語 4 単位 (3 言語履修)

例 : 英語Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ + ラテン語初級Ⅰ/Ⅱ + スペイン語中級Ⅰ A/Ⅰ B/Ⅱ A/Ⅱ B

※選択必修外国語は、英語以外及び母語以外の外国語から選択し、同一言語を以下の組み合わせで履修すること。

・ 4 単位の場合 : 初級Ⅰ/Ⅱ 又は 中級Ⅰ A/Ⅰ B/Ⅱ A/Ⅱ B (日本語の場合は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの中から 2 つ)

・ 6 単位の場合 : 初級Ⅰ/Ⅱ 及び 中級Ⅰ A/Ⅰ B (日本語の場合は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの中から 3 つ)

・ 8 単位の場合 : 初級Ⅰ/Ⅱ 及び 中級Ⅰ A/Ⅰ B/Ⅱ A/Ⅱ B (日本語の場合は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)

2. 修業年限 (4 年) 以上在学しなければ、卒業することができません。ただし、学士入学者や転編入学者は、修業年限が異なりますので、西南学院大学学則第18条を参照してください。

神学部神学科 卒業要件
〈キリスト教人文学コース〉

科目区分			必要 単位数	科目の履修方法
Ⅰ 専攻科目 (82単位)	(A) 専攻 基礎科目	(1)専門基本部門	12	○印のキリスト教神学への招待 A/B は必修。 △印の旧約概論 A/B、新約概論 A/B、キリスト 教史概論 A/B、組織神学概論 A/B から 8 単位以 上修得。
		(2)古典語学・外書部門	8	△印のヘブライ語Ⅰ/Ⅱ、ギリシア語Ⅰ/Ⅱ、教会 ラテン語 A/B、外書講読 A/B/C/D から 8 単位 以上修得。
	(B) 専攻 選択科目	(5)キリスト教人文学部門	4	○印の総合人間学 A/B は必修。
		(6)特殊部門	8	△印の演習 A/B/C/D から 4 単位以上修得。 ○印の卒業論文は必修。
	その他		50	専攻科目のいずれの部門から修得してもよい。
Ⅱ 共通科目 (46単位)	1 基幹 科目	(1)ライフデザイン領域 科目	4	○印のキリスト教神学Ⅰ/Ⅱは必修。
		①外国語	12	必修又は選択必修外国語から、必修英語 4 単位に 加え、その他 8 単位の計 12 単位を修得。ただし、 学則別表第 1 の 1「神学部神学科」に定める詳細要 件も満たさなければならない。 ※具体的な履修方法については、注意 1 を参照す ること。
		②データサイエンス科目	2	○印の〔遠隔〕データリテラシーは必修。
		③スタディスキル科目	1	○印の〔遠隔〕スタディスキルⅠ(基礎・学びの 基本)は必修。
		④ヘルスリテラシー科目	1	○印のヘルスリテラシーは必修。
	2 教養 科目	(1)人文科学	4	4 単位以上修得。
		(2)社会科学	4	4 単位以上修得。
		(3)自然科学	4	4 単位以上修得。
	その他		14	共通科目のいずれの部門から修得してもよい。
	卒業に必要な総単位数		128	-----

(注意)

1. Ⅱ 共通科目の①外国語からは、以下の 4 つのうち、いずれかの方法で単位を修得する必要があります。

①必修英語 4 単位 + 中級英語 4 単位 + 選択必修外国語 4 単位 (2 言語履修)

例 1 : 英語Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ + 中級英語Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ + フランス語初級Ⅰ/Ⅱ

例 2 : 英語Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ + 中級英語Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ + ドイツ語中級Ⅰ A/Ⅰ B/Ⅱ A/Ⅱ B

②必修英語 4 単位 + 中級英語 2 単位 + 選択必修外国語 6 単位 (2 言語履修)

例 : 英語Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ + 中級英語Ⅰ/Ⅲ + 中国語初級Ⅰ/Ⅱ・中級Ⅰ A/Ⅰ B

③必修英語 4 単位 + 選択必修外国語 8 単位 = 12 単位 (2 言語履修)

例 : 英語Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ + 韓国語初級Ⅰ/Ⅱ・中級Ⅰ A/Ⅰ B/Ⅱ A/Ⅱ B

④必修英語 4 単位 + 選択必修外国語 4 単位 + 選択必修外国語 4 単位 (3 言語履修)

例 : 英語Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ + ラテン語初級Ⅰ/Ⅱ + スペイン語中級Ⅰ A/Ⅰ B/Ⅱ A/Ⅱ B

※選択必修外国語は、英語以外及び母語以外の外国語から選択し、同一言語を以下の組み合わせで履修すること。

・ 4 単位の場合 : 初級Ⅰ/Ⅱ又は中級Ⅰ A/Ⅰ B/Ⅱ A/Ⅱ B (日本語の場合は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの中から 2 つ)

・ 6 単位の場合 : 初級Ⅰ/Ⅱ及び中級Ⅰ A/Ⅰ B (日本語の場合は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの中から 3 つ)

・ 8 単位の場合 : 初級Ⅰ/Ⅱ及び中級Ⅰ A/Ⅰ B/Ⅱ A/Ⅱ B (日本語の場合は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)

2. 修業年限 (4 年) 以上在学しなければ、卒業することができません。ただし、学士入学者や転編入学者は、修業年限が異なりますので、西南学院大学学則第 18 条を参照してください。

外国語学部外国語学科 卒業要件

【外国語専門研究】

科目区分			必要単位	内 容
Ⅰ 専攻科目 (80単位)	1 導入科目		4	基礎演習、導入演習
	2 スキル科目		16	外国語コミュニケーションA（英語）、外国語コミュニケーションB（英語）、 外国語コミュニケーションA（フランス語）、外国語コミュニケーションB（フランス語）
	3 専門基礎科目		6	6単位以上
	4 専門展開科目		6	(1)英語研究科目群、(2)フランス語研究科目群、(3)グローバル・コミュニケーション・スタディーズ科目群のいずれか一つにおいて6単位以上
	5 演習・卒業論文部門		8	演習Ⅰ、4年次以上において演習Ⅱまたは※印(学生便覧参照)のうちから4単位以上
	その他		40	専攻科目の中から修得する。(部門は問わない)
Ⅱ 共通科目 (20単位)	1 基幹科目 (8単位)	(1)ライフデザイン領域科目	4	キリスト教学Ⅰ、キリスト教学Ⅱ
		(2)リテラシー領域科目	4	〔遠隔〕データリテラシー、〔遠隔〕スタディスキルⅠ(基礎・学びの基本)、ヘルスリテラシー
	2 教養科目 (12単位)	(1)人文科学	4	4単位以上
		(2)社会科学	4	4単位以上
		(3)自然科学	4	4単位以上
その他 (24単位)	———		24	専攻科目、共通科目の中から修得する。
卒業に必要な 単位の総数 (124単位)	———		124	———

(注意) 1. 4年次以上において、演習Ⅱまたは※印(学生便覧参照)のうちから4単位以上修得しなければ卒業できない。
2. 修業年限要件として、4年以上在学しなければ、卒業することができない。(早期卒業、転・編入学、学士入学は年数が異なるため、西南学院大学学則第18条を参照すること)

外国語学部外国語学科 卒業要件

【英語総合研究】

科目区分			必要単位	内 容
Ⅰ 専攻科目 (80単位)	1 導入科目		4	基礎演習、導入演習
	2 スキル科目		20	外国語コミュニケーションA（英語）、外国語コミュニケーションB（英語）、 外国語コミュニケーションA（フランス語）、外国語コミュニケーションB（フランス語） コミュニケーション英語Ⅰ（統合基礎）、コミュニケーション英語Ⅱ（統合応用）
	3 専門基礎科目		4	英語学概論A、コミュニケーション学入門
	4 専門展開科目		18	(1) 英語研究科目群より、英語圏文学A（ヨーロッパ）、英語圏文学B（北アメリカ）、 英文法A、英文法B、英語音声学、その他8単位以上
	5 演習・卒業論文部門		8	演習Ⅰ、4年次以上において演習Ⅱまたは※印(学生便覧参照)のうちから4単位以上
	その他		26	専攻科目の中から修得する。（部門は問わない）
Ⅱ 共通科目 (20単位)	1 基幹科目 (8単位)	(1)ライフデザイン領域科目	4	キリスト教学Ⅰ、キリスト教学Ⅱ
		(2)リテラシー領域科目	4	〔遠隔〕データリテラシー、〔遠隔〕スタディスキルⅠ（基礎・学びの基本）、ヘルスリテラシー
	2 教養科目 (12単位)	(1)人文科学	4	4単位以上
		(2)社会科学	4	4単位以上
		(3)自然科学	4	4単位以上
その他 (24単位)	———		24	専攻科目、共通科目の中から修得する。
卒業に必要な 単位の総数 (124単位)	———		124	———

(注意) 1. 4年次以上において、演習Ⅱまたは※印(学生便覧参照)のうちから4単位以上修得しなければ卒業できない。
2. 修業年限要件として、4年以上在学しなければ、卒業することができない。（早期卒業、転・編入学、学士入学は
年数が異なるため、西南学院大学学則第18条を参照すること）

外国語学部外国語学科 卒業要件

【フランス語総合研究】

科目区分			必要単位	内 容
Ⅰ 専攻科目 (80単位)	1 導入科目		4	基礎演習、導入演習
	2 スキル科目		16	外国語コミュニケーションA（英語）、外国語コミュニケーションB（英語）、 外国語コミュニケーションA（フランス語）、外国語コミュニケーションB（フランス語）
	3 専門基礎科目		4	コミュニケーションフランス語基礎A、コミュニケーションフランス語基礎B
	4 専門展開科目		22	(1) フランス語研究科目群より、フランス語文法、フランス語史、フランス語圏文学研究A、フランス語圏 文化研究、その他14単位以上
	5 演習・卒業論文部門		8	演習Ⅰ、4年次以上において演習Ⅱまたは※印(学生便覧参照)のうちから4単位以上
	その他		26	専攻科目の中から修得する。（部門は問わない）
Ⅱ 共通科目 (20単位)	1 基幹科目 (8単位)	(1)ライフデザイン領域科目	4	キリスト教学Ⅰ、キリスト教学Ⅱ
		(2)リテラシー領域科目	4	〔遠隔〕データリテラシー、〔遠隔〕スタディスキルⅠ（基礎・学びの基本）、ヘルスリテラシー
	2 教養科目 (12単位)	(1)人文科学	4	4単位以上
		(2)社会科学	4	4単位以上
		(3)自然科学	4	4単位以上
その他 (24単位)	———		24	専攻科目、共通科目の中から修得する。
卒業に必要な 単位の総数 (124単位)	———		124	———

(注意) 1. 4年次以上において、演習Ⅱまたは※印(学生便覧参照)のうちから4単位以上修得しなければ卒業できない。
2. 修業年限要件として、4年以上在学しなければ、卒業することができない。（早期卒業、転・編入学、学士入学は
年数が異なるため、西南学院大学学則第18条を参照すること）

商学部商学科 卒業要件

科目区分		必要単位	内容
Ⅰ 専攻科目 (84単位)	A. 基礎部門	14	基礎部門から14単位を修得する。基礎演習Ⅰ・Ⅱ、基礎商学(計6単位)は必修科目である。演習Ⅰ・Ⅱを修得することが望ましい。
	B. 主専攻	28	主専攻が商学コースの学生は◇から28単位以上、会計学コースの学生は◆から 28単位以上を修得する。
	C. 学科専攻	20	主専攻に選んでいないコースの科目と学部共通部門から20単位以上を修得する。ただし、主専攻において28単位を超えて修得した単位がある場合は、それを充当することができる。
	D. その他	22	(8)自由選択部門以外の専攻科目から修得する。科目区分A, B, Cでそれぞれの必要単位数を超えて修得した単位がある場合は、それを充当することができる。専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒論演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文を修得することが望ましい。
Ⅱ 共通科目 (32単位)	1 基幹科目	20	キリスト教学Ⅰ・Ⅱ、[遠隔]データリテラシー、[遠隔]スタディスキルⅠ(基礎・学びの基本)、ヘルスリテラシーは必修科目(計8単位)である。 また、「英語Ⅰ～Ⅳ」「中級英語Ⅰ～Ⅳ」の8単位と、中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語のいずれかの言語から、同一言語の初級Ⅰ・Ⅱを必ず修得する。
	2 教養科目	12	(1)人文科学、(2)社会科学、(3)自然科学のそれぞれから4単位ずつ、計12単位以上修得しなければならない。
Ⅲ その他 (8単位)	——	8	専攻科目、共通科目の中から修得する。
卒業に必要な単位の総数 (124単位)	——	124	<u>4年次以上において、専攻科目(部門は問わない)を8単位以上修得しなければ、卒業することができない(早期卒業は除く)。</u>

- (注意) 1. 第一外国語(英語)において、母語が英語の場合は、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語、日本語から母語以外かつ第二外国語として選択した言語以外の1つを選択し、第一外国語として修得しなければならない。
2. 修業年限要件として、4年以上在学しなければ、卒業することができない(早期卒業、転・編入学、学士入学は年数が異なるため、西南学院大学学則第18条を参照すること)。
3. 卒業可否の判定において、海外派遣留学中又は認定留学中(留学終了手続きが完了していない状況)の場合は、卒業することができない。

商学部経営学科 卒業要件

科目区分		必要単位	内容
Ⅰ 専攻科目 (84単位)	A. 基礎部門	14	基礎部門から14単位を修得する。基礎演習Ⅰ・Ⅱ、基礎経営学（計6単位）は必修科目である。演習Ⅰ・Ⅱを修得することが望ましい。
	B. 主専攻	28	主専攻が経営学コースの学生は◇から28単位以上、経営情報学コースの学生は◆から28単位以上を修得する。
	C. 学科専攻	20	主専攻に選んでいないコースの科目と学部共通部門から20単位以上を修得する。ただし、主専攻において28単位を超えて修得した単位がある場合は、それを充当することができる。
	D. その他	22	(8)自由選択部門以外の専攻科目から修得する。科目区分A, B, Cでそれぞれの必要単位数を超えて修得した単位がある場合は、それを充当することができる。 専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒論演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文を修得することが望ましい。
Ⅱ 共通科目 (32単位)	1 基幹科目	20	キリスト教学Ⅰ・Ⅱ、[遠隔]データリテラシー、[遠隔]スタディスキルⅠ（基礎・学びの基本）、ヘルスリテラシーは必修科目（計8単位）である。 また、「英語Ⅰ～Ⅳ」「中級英語Ⅰ～Ⅳ」の8単位と、中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語のいずれかの言語から、同一言語の初級Ⅰ・Ⅱを必ず修得する。
	2 教養科目	12	(1)人文科学、(2)社会科学、(3)自然科学のそれぞれから4単位ずつ、計12単位以上修得しなければならない。
Ⅲ その他 (8単位)	——	8	専攻科目、共通科目の中から修得する。
卒業に必要な 単位の総数 (124単位)	——	124	<u>4年次以上において、専攻科目（部門は問わない）を8単位以上修得しなければ、卒業することができない（早期卒業は除く）。</u>

- （注意） 1. 第一外国語（英語）において、母語が英語の場合は、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語、日本語から母語以外かつ第二外国語として選択した言語以外の1つを選択し、第一外国語として修得しなければならない。
2. 修業年限要件として、4年以上在学しなければ、卒業することができない（早期卒業、転・編入学、学士入学は年数が異なるため、西南学院大学学則第18条を参照すること）。
3. 卒業可否の判定において、海外派遣留学中又は認定留学中（留学終了手続きが完了していない状況）の場合は、卒業することができない。

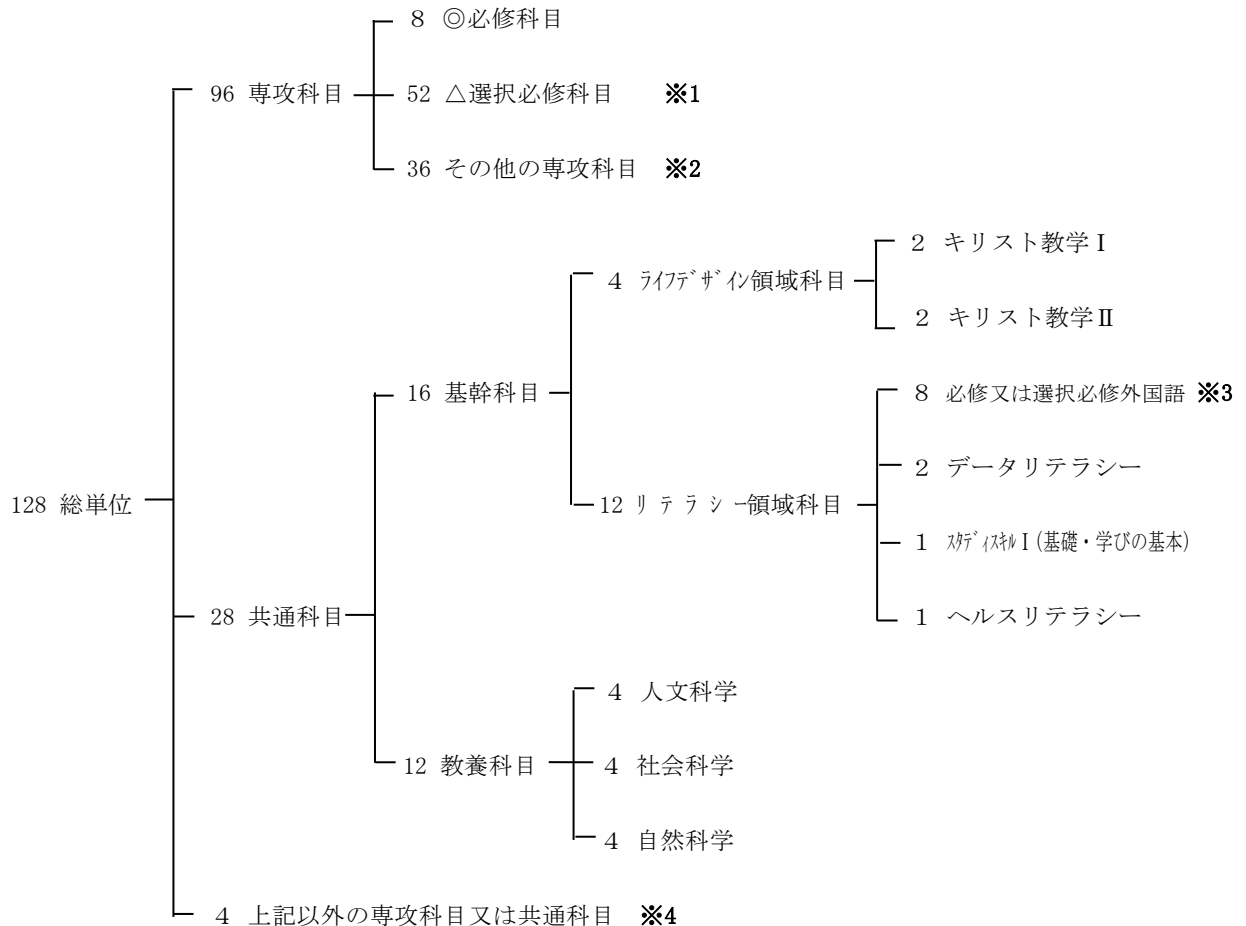
経済学部 経済学科・国際経済学科 卒業要件
(27 期生以降)

(1) 修業年限要件

本学学則第 18 条に定める修業年限である 4 年間の在学期間を満たさなければ卒業できない。

なお、転入学者、編入学者、学士入学者は修業年限が異なるため、本学学則第 18 条を参照すること。

(2) 単位要件



なお、4 年次以上において、専攻科目から 8 単位以上を修得しなければ卒業できない。よって、3 年次終了時に既に、上記の卒業に必要な単位をすべて修得していても、4 年次以上において専攻科目 8 単位以上を修得する必要がある。

※1：選択必修科目として指定されている科目は学科毎に異なる。

※2：選択必修科目から 52 単位を超えて修得した単位は“その他の専攻科目”に含まれる。

なお、専攻科目の「(13)自由選択科目」に配置されている科目の単位は、専攻科目として修得すべき 96 単位には含まれないが、“上記以外の専攻科目又は共通科目”の単位には含まれる。

※3：必修英語 4 単位（英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）に加え、英語 4 単位（中級英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）又は英語以外及び母語以外の同一言語の外国語 4 単位（初級Ⅰ・Ⅱ（日本語の場合は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの中から 2 つ））の計 8 単位を修得しなければならない。

例 1) 必修英語 4 単位＋選択必修英語 4 単位修得で計 8 単位修得 ⇒ 要件を満たす

例 2) 必修英語 4 単位＋フランス語初級Ⅰ・Ⅱ 4 単位修得で計 8 単位修得 ⇒ 要件を満たす

例 3) 必修英語 4 単位＋中国語初級Ⅰ 2 単位＋韓国語初級Ⅱ 2 単位修得で計 8 単位修得 ⇒ 要件を満たさない

※4：専攻科目から 96 単位を超えて修得した単位又は共通科目から 28 単位を超えて修得した単位は“上記以外の専攻科目又は共通科目”に含まれる。

法学部法律学科公共法政策コース 卒業所要単位

授業科目、単位および履修方法			
Ⅰ 専攻科目		(1)導入科目	4 単位以上修得すること。
		(2)基本法律科目	40単位以上修得すること。
		A 群	12単位以上修得すること。
		B 群	12単位以上修得すること。
		C 群	6 単位以上修得すること。
		(3)発展法律科目	18単位以上修得すること。
		(4)国際関係法・政治学科目	4 単位以上修得すること。
		(5)演習・実務関連科目	8 単位以上修得すること。
小計		(1)～(5)の中から84単位以上修得すること。	
Ⅱ 共通科目	基幹科目	キリスト教学Ⅰ、Ⅱ	4 単位修得すること。
		英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	4 単位修得すること。
		英語以外かつ母語以外の選択必修外国語	4 単位以上修得すること。
		〔遠隔〕データリテラシー	2 単位修得すること。
		〔遠隔〕スタディスキルⅠ	1 単位修得すること。
		ヘルスリテラシー	1 単位修得すること。
	教養科目	(1)人文科学	4 単位以上修得すること。
		(2)社会科学	4 単位以上修得すること。
		(3)自然科学	4 単位以上修得すること。
小計		28単位以上修得すること。	
卒業所要単位		124単位以上修得すること。	

(注意)

1. 4年次以降の履修について

4年次以降において、Ⅰ、Ⅱの中から6単位以上を修得することが卒業の要件です。3年次終了時にすでに卒業所要単位数124単位以上修得していた場合も同様のため、注意してください。

2. 専攻科目の「(6)自由選択科目」に配置されている科目の単位は、専攻科目として修得すべき84単位に含めることはできませんが、12単位までは卒業所要単位数に含めることができます。

3. 早期卒業希望者の履修について

早期卒業を希望する者は、2年次最終月(3月)のWEB履修登録開始日前日までに教務課へ申し出てください。

なお、早期卒業を希望する者は3年次終了までに、卒業所要単位の124単位以上を修得できるように履修してください。

早期卒業が認められれば、4年次に6単位を修得しなければならない旨の要件は適用されません。

また、早期卒業のためには、学年で上位5%以内の成績が必要です。ただし、応用法律学7科目のうち5科目でA以上の成績を修得した人は、上位10%以内の成績でも資格が認められます。これまでに取得した単位の成績を計算して平均値を出し、それを順位表にして(匿名で)Moodle上に公表しますので、自分の成績順位はこれで確認してください。

4. 在学期間の延長とその救済について

法律学科に入学後最初の2年間に、56単位以上(導入科目4単位以上を含む)を修得できなかった者は、在学期間を1年延長しなければなりません(履修規程第12条(7))。ただし、上記に該当する者が、3年次終了時において、卒業に必要とされる総単位数の4分の3以上および卒業に必要とされる導入科目の単位を修得しているか、または、4年次終了時において、卒業に必要とされる単位を修得している場合には、在学期間1年延長の義務を免除することができます(履修規程第12条の2(5))。

5. 修業年限要件について

4年以上在学しなければ、卒業することができない。(学則第18条)

(早期卒業、転・編入学、学士入学は年数が異なるため、学則第18条を参照すること)。

法学部法律学科ビジネス法コース 卒業所要単位

授業科目、単位および履修方法			
Ⅰ 専攻科目		(1)導入科目	4単位以上修得すること。
		(2)基本法律科目	40単位以上修得すること。
		B群	16単位以上修得すること。
		(3)発展法律科目	18単位以上修得すること。
		D群	10単位以上修得すること。
		(4)国際関係法・政治学科目	4単位以上修得すること。
		(5)演習・実務関連科目	8単位以上修得すること。
小計		(1)～(5)の中から84単位以上修得すること。	
Ⅱ 共通科目	基幹科目	キリスト教学Ⅰ、Ⅱ	4単位修得すること。
		英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	4単位修得すること。
		英語以外かつ母語以外の選択必修外国語	4単位以上修得すること。
		〔遠隔〕データリテラシー	2単位修得すること。
		〔遠隔〕スタディスキルⅠ	1単位修得すること。
		ヘルスリテラシー	1単位修得すること。
	教養科目	(1)人文科学	4単位以上修得すること。
		(2)社会科学	4単位以上修得すること。
		(3)自然科学	4単位以上修得すること。
小計		28単位以上修得すること。	
卒業所要単位		124単位以上修得すること。	

(注意)

1. 4年次以降の履修について

4年次以降において、Ⅰ、Ⅱの中から6単位以上を修得することが卒業の要件です。3年次終了時にすでに卒業所要単位数124単位以上修得していた場合も同様のため、注意してください。

2. 専攻科目の「(6)自由選択科目」に配置されている科目の単位は、専攻科目として修得すべき84単位に含めることはできませんが、12単位までは卒業所要単位数に含めることができます。

3. 早期卒業希望者の履修について

早期卒業を希望する者は、2年次最終月(3月)のWEB履修登録開始日前日までに教務課へ申し出てください。

なお、早期卒業を希望する者は3年次終了までに、卒業所要単位の124単位以上を修得できるように履修してください。

早期卒業が認められれば、4年次に6単位を修得しなければならない旨の要件は適用されません。

また、早期卒業のためには、学年で上位5%以内の成績が必要です。ただし、応用法律学7科目のうち5科目でA以上の成績を修得した人は、上位10%以内の成績でも資格が認められます。これまでに取得した単位の成績を計算して平均値を出し、それを順位表にして(匿名で)Moodle上に公表しますので、自分の成績順位はこれで確認してください。

4. 在学期間の延長とその救済について

法律学科に入学後最初の2年間に、56単位以上(導入科目4単位以上を含む)を修得できなかった者は、在学期間を1年延長しなければなりません(履修規程第12条(7))。ただし、上記に該当する者が、3年次終了時において、卒業に必要とされる総単位数の4分の3以上および卒業に必要とされる導入科目の単位を修得しているか、または、4年次終了時において、卒業に必要とされる単位を修得している場合には、在学期間1年延長の義務を免除することができます(履修規程第12条の2(5))。

5. 修業年限要件について

4年以上在学しなければ、卒業することができない。(学則第18条)

(早期卒業、転・編入学、学士入学は年数が異なるため、学則第18条を参照すること)。

法学部法律学科法務コース・法学専修コース 卒業所要単位

授業科目、単位および履修方法			
Ⅰ 専攻科目		(1)導入科目	4 単位以上修得すること。
		(2)基本法律科目	40単位以上修得すること。
		(3)発展法律科目	18単位以上修得すること。 ただし、(2)基本法律科目において、40単位を超えて修得した単位から12単位まで充当することができる。
		(4)国際関係法・政治学科目	4 単位以上修得すること。
		(5)演習・実務関連科目	8 単位以上修得すること。
小計		(1)～(5)の中から84単位以上修得すること。	
Ⅱ 共通科目	基幹科目	キリスト教学Ⅰ、Ⅱ	4 単位修得すること。
		英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	4 単位修得すること。
		英語以外かつ母語以外の選択必修外国語	4 単位以上修得すること。
		〔遠隔〕データリテラシー	2 単位修得すること。
		〔遠隔〕スタディスキルⅠ	1 単位修得すること。
		ヘルスリテラシー	1 単位修得すること。
	教養科目	(1)人文科学	4 単位以上修得すること。
		(2)社会科学	4 単位以上修得すること。
		(3)自然科学	4 単位以上修得すること。
小計		28単位以上修得すること。	
卒業所要単位		124単位以上修得すること。	

(注意)

1. 4年次以降の履修について

4年次以降において、Ⅰ、Ⅱの中から6単位以上を修得することが卒業の要件です。3年次終了時にすでに卒業所要単位数124単位以上修得していた場合も同様のため、注意してください。

2. 専攻科目の「(6)自由選択科目」に配置されている科目の単位は、専攻科目として修得すべき84単位に含めることはできませんが、12単位までは卒業所要単位数に含めることができます。

3. 早期卒業希望者の履修について

早期卒業を希望する者は、2年次最終月(3月)のWEB履修登録開始日前日までに教務課へ申し出てください。

なお、早期卒業を希望する者は3年次終了までに、卒業所要単位の124単位以上を修得できるように履修してください。

早期卒業が認められれば、4年次に6単位を修得しなければならない旨の要件は適用されません。

また、早期卒業のためには、学年で上位5%以内の成績が必要です。ただし、応用法律学7科目のうち5科目でA以上の成績を修得した人は、上位10%以内の成績でも資格が認められます。これまでに取得した単位の成績を計算して平均値を出し、それを順位表にして(匿名で)Moodle上に公表しますので、自分の成績順位はこれで確認してください。

4. 在学期間の延長とその救済について

法律学科に入学後最初の2年間に、56単位以上(導入科目4単位以上を含む)を修得できなかった者は、在学期間を1年延長しなければなりません(履修規程第12条(7))。ただし、上記に該当する者が、3年次終了時において、卒業に必要とされる総単位数の4分の3以上および卒業に必要とされる導入科目の単位を修得しているか、または、4年次終了時において、卒業に必要とされる単位を修得している場合には、在学期間1年延長の義務を免除することができます(履修規程第12条の2(5))。

5. 修業年限要件について

4年以上在学しなければ、卒業することができない。(学則第18条)

(早期卒業、転・編入学、学士入学は年数が異なるため、学則第18条を参照すること)。

法学部国際関係法学科国際関係法コース 卒業所要単位

授業科目、単位および履修方法			
Ⅰ 専攻科目		(1)導入科目	4単位以上修得すること。
		(2)基本科目	20単位以上修得すること。
		(3)発展科目	8単位以上修得すること。
		(4)法律科目	28単位以上修得すること。
		(5)演習・実務関連科目	12単位以上修得すること。
小計		(1)～(5)の中から82単位以上修得すること。	
Ⅱ 共通科目	基幹科目	キリスト教学Ⅰ、Ⅱ	4単位修得すること。
		英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	4単位修得すること。
		英語以外かつ母語以外の選択必修外国語	4単位以上修得すること。
		〔遠隔〕データリテラシー	2単位修得すること。
		〔遠隔〕スタディスキルⅠ	1単位修得すること。
		ヘルスリテラシー	1単位修得すること。
	教養科目	(1)人文科学	4単位以上修得すること。
		(2)社会科学	4単位以上修得すること。
		(3)自然科学	4単位以上修得すること。
小計		28単位以上修得すること。	
卒業所要単位		124単位以上修得すること。	

(注意)

1. 4年次以降の履修について

4年次以降において、Ⅰ、Ⅱの中から6単位以上を修得することが卒業の要件です。3年次終了時にすでに卒業所要単位数124単位以上修得していた場合も同様のため、注意してください。

2. 専攻科目の「(6)自由選択科目」に配置されている科目の単位は、専攻科目として修得すべき82単位に含めることはできませんが、14単位までは卒業所要単位数に含めることができます。

3. 早期卒業希望者の履修について

早期卒業を希望する者は、2年次最終月(3月)のWEB履修登録開始日前日までに教務課へ申し出てください。

なお、早期卒業を希望する者は3年次終了までに、卒業所要単位の124単位以上を修得できるように履修してください。早期卒業が認められれば、4年次に6単位を修得しなければならない旨の要件は適用されません。

また、早期卒業のためには、学年で上位5%以内の成績が必要です。ただし、応用法律学7科目のうち5科目でA以上の成績を修得した人は、上位10%以内の成績でも資格が認められます。これまでに取得した単位の成績を計算して平均値を出し、それを順位表にして(匿名で)Moodle上に公表しますので、自分の成績順位はこれで確認してください。

4. 在学期間の延長とその救済について

国際関係法学科に入学後最初の2年間に、56単位以上(導入科目4単位以上を含む)を修得できなかった者は、在学期間を1年延長しなければなりません(履修規程第12条(8))。ただし、上記に該当する者が、3年次終了時において、卒業に必要とされる総単位数の4分の3以上および卒業に必要とされる導入科目の単位を修得しているか、または、4年次終了時において、卒業に必要とされる単位を修得している場合には、在学期間1年延長の義務を免除することができます(履修規程第12条の2(5))。

5. 修業年限要件について

4年以上在学しなければ、卒業することができない。(学則第18条)

(早期卒業、転・編入学、学士入学は年数が異なるため、学則第18条を参照すること)。

法学部国際関係法学科法務コース 卒業所要単位

授業科目、単位および履修方法			
Ⅰ 専攻科目		(1)導入科目	4 単位以上修得すること。
		(2)基本科目	20単位以上修得すること。 ただし、(4)法律科目において、28単位を超えて修得した単位から8単位まで充当することができる。
		(3)発展科目	8 単位以上修得すること。
		(4)法律科目	28単位以上修得すること。
		(5)演習・実務関連科目	12単位以上修得すること。
小計		(1)～(5)の中から82単位以上修得すること。	
Ⅱ 共通科目	基幹科目	キリスト教学Ⅰ、Ⅱ	4 単位修得すること。
		英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	4 単位修得すること。
		英語以外かつ母語以外の選択必修外国語	4 単位以上修得すること。
		〔遠隔〕データリテラシー	2 単位修得すること。
		〔遠隔〕スタディスキルⅠ	1 単位修得すること。
		ヘルスリテラシー	1 単位修得すること。
	教養科目	(1)人文科学	4 単位以上修得すること。
		(2)社会科学	4 単位以上修得すること。
		(3)自然科学	4 単位以上修得すること。
小計		28単位以上修得すること。	
卒業所要単位		124単位以上修得すること。	

(注意)

1. 4 年次以降の履修について

4 年次以降において、Ⅰ、Ⅱの中から6 単位以上を修得することが卒業の要件です。3 年次終了時にすでに卒業所要単位数124単位以上修得していた場合も同様のため、注意してください。

2. 専攻科目の「(6) 自由選択科目」に配置されている科目の単位は、専攻科目として修得すべき82単位に含めることはできませんが、14単位までは卒業所要単位数に含めることができます。

3. 早期卒業希望者の履修について

早期卒業を希望する者は、2 年次最終月(3 月)の WEB 履修登録開始日前日までに教務課へ申し出てください。

なお、早期卒業を希望する者は3 年次終了までに、卒業所要単位の124単位以上を修得できるように履修してください。

早期卒業が認められれば、4 年次に6 単位を修得しなければならない旨の要件は適用されません。

また、早期卒業のためには、学年で上位 5 % 以内の成績が必要です。ただし、応用法律学 7 科目のうち 5 科目で A 以上の成績を修得した人は、上位10%以内の成績でも資格が認められます。これまでに取得した単位の成績を計算して平均値を出し、それを順位表にして(匿名で) Moodle 上に公表しますので、自分の成績順位はこれで確認してください。

4. 在学期間の延長とその救済について

国際関係法学科に入学後最初の2 年間に、56単位以上(導入科目 4 単位以上を含む)を修得できなかった者は、在学期間を1 年延長しなければなりません(履修規程第12条(8))。ただし、上記に該当する者が、3 年次終了時において、卒業に必要とされる総単位数の4 分の3 以上および卒業に必要とされる導入科目の単位を修得しているか、または、4 年次終了時において、卒業に必要とされる単位を修得している場合には、在学期間1 年延長の義務を免除することができます(履修規程第12条の2 (5))。

5. 修業年限要件について

4 年以上在学しなければ、卒業することができない。(学則第18条)

(早期卒業、転・編入学、学士入学は年数が異なるため、学則第18条を参照すること)。

人間科学部児童教育学科 卒業要件

1. 修業年限 4年以上在学しなければ卒業することができない。(転・編入学者、学士入学者は年数が異なるため、西南学院大学学則第18条を参照すること)

2. 卒業に必要な単位

科目区分		履修	単位数	内容・授業科目
Ⅰ 専攻科目 (80単位)		必修	19	◎保育原理 ◎教育の理念と歴史 ◎発達と学習の心理学 ◎基礎演習 ◎演習Ⅰ ◎演習Ⅱ ◎卒業論文
		その他の 専攻科目	61	
Ⅱ 共通科目 (28単位)	1 基幹科目 (16単位)	必修	4	◎キリスト教学Ⅰ ◎キリスト教学Ⅱ
		必修外国語	4	必修英語4単位（英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）
		選択必修 外国語	4	英語4単位（中級英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）又は英語以外及び母語以外の同一言語の外国語4単位（初級Ⅰ・Ⅱ（日本語の場合は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの中から2つ））
		必修	2	◎〔遠隔〕データリテラシー
		必修	1	◎〔遠隔〕スタディスキルⅠ（基礎・学びの基本）
		必修	1	◎ヘルスリテラシー
	2 教養科目 (12単位)	(1)人文科学	4	人文科学の科目から4単位
		(2)社会科学	4	社会科学の科目から4単位
		(3)自然科学	4	自然科学の科目から4単位
Ⅲ その他の 上記以外の専攻科目又は共通科目 (16単位以上)			16	上記の専攻科目80単位、共通科目28単位を超えて修得した単位がある場合は、ここに算入する。 ・共通科目の超域科学の科目の単位は、ここに算入する。
卒業に必要な単位の総数（124単位）			124	

履修方法

- 人間科学部児童教育学科は、卒業に必要な単位の総数 124 単位以上を修得しなければならない。専攻科目から 80 単位以上、共通科目から 28 単位以上、さらに専攻科目又は共通科目から 16 単位以上を修得しなければならない。ただし、専攻科目及び共通科目の修得においては、別表第 1 の 9「人間科学部児童教育学科」に定める詳細要件も満たさなければならない。
- 専攻科目のその他の専攻科目 61 単位を超えて修得した専攻科目は、“上記以外の専攻科目又は共通科目(16 単位以上)”に算入する。
- 共通科目の必修及び選択必修科目 16 単位、ならびに教養科目の人文科学 4 単位、社会科学 4 単位、自然科学 4 単位を超えて修得した共通科目は“上記以外の専攻科目又は共通科目(16 単位以上)”に算入する。共通科目の超域科学の科目は、“上記以外の専攻科目又は共通科目(16 単位以上)”に算入する。
- 必修英語 4 単位(英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)に加え、英語 4 単位(中級英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)又は英語以外及び母語以外の同一言語の外国語 4 単位(初級Ⅰ・Ⅱ(日本語の場合は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの中から2つ))の計 8 単位を修得しなければならない。
- 小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状あるいは指定保育士養成施設卒業証明書を得ようとする者は、卒業要件とは別に各免許・資格取得に関して定められた要件による科目及び必要な単位を修得しなければならない。

人間科学部社会福祉学科 卒業要件

科目区分			必修	選択	科目の履修方法
Ⅰ 専攻科目 (96単位以上)	1 基本科目		4	84	◎印の社会福祉原論Ⅰ／Ⅱは必修。
	2 方法・技術科目				
	3 技術演習・実習科目				
	4 専門領域科目				
	5 専門展開科目				
	6 保育に関する科目				
	7 専門演習・卒業論文		8		◎印の基礎演習、専門演習Ⅰ／Ⅱは必修。
	8 自由選択科目				
Ⅱ 共通科目 (28単位以上)	1 基幹科目 (16単位以上)	(1) ライフデザイン領域科目	4		◎印のキリスト教学Ⅰ／Ⅱは必修。
		(2) リテラシー領域科目			
		①外国語	4	4	必修又は選択必修外国語から、必修英語4単位（英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）に加え、英語4単位（中級英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）又は英語以外及び母語以外の同一言語の外国語4単位（初級Ⅰ・Ⅱ（日本語の場合は日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの中から2つ）の計8単位を修得。
		②データサイエンス科目	2		◎印の〔遠隔〕データリテラシーは必修。
		③スタディスキル科目	1		◎印の〔遠隔〕スタディスキルⅠ（基礎・学びの基本）は必修。
		④ヘルスリテラシー科目	1		◎印のヘルスリテラシーは必修。
	2 教養科目 (12単位以上)	(1)人文科学		4	4単位以上修得。
		(2)社会科学		4	4単位以上修得。
		(3)自然科学		4	4単位以上修得。
		(4)超域科学			

（注意） 1. 人間科学部社会福祉学科の学生が卒業するのに必要な単位数は124単位で、その修得単位は上記の通りである。

2. 修業年限要件として、4年以上在学しなければ、卒業することができない（転・編入学、学士入学は年数が異なるため、西南学院大学学則第18条を参照すること）。

【卒業論文審査基準】

1. 指導・評価

専門演習の指導教員が指導し、評価をする。

専門演習Ⅰの講義を通じて研究の基本姿勢、手法を学び、専門知識を修得して、専門演習Ⅱで卒業論文作成の指導を受ける。

2. 卒業論文の要件

「社会福祉学科卒業論文作成要領」に従って、作成・提出すること。

3. 評価方法

以下の項目について総合的に評価する

(1) 研究目的

(2) 問題提示の明確さ

(3) 先行研究の整理

(4) 研究の意義

(5) 論文の内容

(6) 論文の構成（章や節を中心とした全体構想）の適切さ

(7) データや資料の分析力

(8) 検証（論証）の説得力

(9) 問題設定と結論の整合性

(10) 問題設定と論旨・主張の整合性と一貫性

(11) 問題設定と形式的要件

(12) 問題設定と執筆要項の遵守（表記の適切さ）

(13) 問題設定と研究倫理の遵守

4. 指導教員の責務

公正、客観的に評価し、学位の水準を保つように努める。

人間科学部心理学科 卒業要件

卒業するのに必要な単位数は 124 単位で、その履修方法は次の通りである
(履修科目の登録上限 (年間) : 1 年次、2 年次、3 年次、4 年次 40 単位)

科目区分		必要単位	内容
専攻科目		必修	31
		選択必修	4または6 卒業研究 A または卒業研究 B（プレゼンテーション法と合わせて）から選択
		選択科目	51または49 卒業研究 A を選択した場合は51単位以上、卒業研究 B を選択した場合は49単位以上
小計		86	
共通科目	基幹科目	必修	4 キリスト教学Ⅰ、Ⅱ
		必修	4 英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ
		選択必修	4 選択必修外国語の中から英語 4 単位または母語以外の同一言語 4 単位
		必修	2 [遠隔]データリテラシー
		必修	1 [遠隔]スタディスキルⅠ（基礎・学びの基本）
		必修	1 ヘルスリテラシー
	教養科目		4 （１）人文科学
			4 （２）社会科学
			4 （３）自然科学
小計		28	
卒業要件単位		124	

(注意)

- (1) 専攻科目から86単位以上{卒業研究 A 選択：必修35単位、選択51単位 卒業研究 B 選択：必修37単位、選択49単位}を修得すること。
- (2) 各科目群で指定された単位数に加え、専攻科目または共通科目から10単位以上修得すること。
- (3) 修業年限要件として、4 年以上在学しなければ卒業することができない。ただし、早期卒業・学士入学・転編入は年数が異なる。

【卒業研究について】

卒業研究 A	卒業研究 B
1. 文字数 ・ 16000字相当以上 ・ 外国語で作成する場合は 5000語程度 ・ 共同研究による論文作成も認める ・ 共同研究の場合5名以内 各自12000字相当以上	1. 文字数 ・ 4000字相当以上 ・ 共同研究による論文作成も認める ・ 共同研究の場合5名以内 各自4000字相当以上
2. 発表 発表なし、ポスター発表、口頭発表のうち、いずれか 1 つを選択する	2. 発表 必ずポスター発表を行う
3. 履修が必要な科目 「演習Ⅰ(A)」「演習Ⅰ(B)」「演習Ⅱ(A)」「演習Ⅱ(B)」	3. 履修が必要な科目 「演習Ⅰ(A)」「演習Ⅰ(B)」「演習Ⅱ(A)」「演習Ⅱ(B)」 「プレゼンテーション法」
4. 評価方法 卒業論文により評価	4. 評価方法 卒業研究報告書、及びポスター発表にて評価

【卒業研究審査基準】

1. 指導・評価
 演習の指導教員が指導し、評価をする。
 演習Ⅰ(A)・演習Ⅰ(B)の講義を通じて研究の基本姿勢、手法を学び、専門知識を修得して、演習Ⅱ(A)・演習Ⅱ(B)で卒業論文作成の指導を受ける。
2. 卒業論文の要件
 「心理学の卒業論文・卒業研究報告書作成要領」に従って、作成・提出すること。
3. 評価方法
 研究目的、問題提示の明確さ、先行研究の整備、研究の意義、論文の内容、論文の構成の適切さ、データや資料の分析力、検証(論証)の説得性、問題設定と結論の整合性、論旨・主張の整合性と一貫性、形式的要件、執筆要項の遵守、研究倫理の遵守などの点を評価項目として成績評価を行う。
4. 指導教員の責務
 公正、客観的に評価し、学位の水準を保つように努める。

国際文化学部国際文化学科 卒業要件

科目区分		必要 単位数	科目の履修方法	
Ⅰ 専攻科目 (78単位) ※「7 自由選択部門」は 専攻科目78単位に含まない。	1 演習・卒業論文部門	20	◎印の基礎演習Ａ・Ｂ、導入演習Ａ・Ｂ、専門演習Ａ・Ｂ、卒論演習Ａ・Ｂ、卒業論文は必修。	
	2 文化論部門	8	文化コース基礎論 a～f から8単位以上修得。 ※文化のダイナミズムＡ・Ｂは「8 その他の専攻科目」に算入する。	
	3 系・コース専攻部門	12	所属系から12単位以上修得。ただし、そのうち4単位以上は所属コースから修得しなければならない。	
	4 専門外国語部門	4	専門外国語Ａ・Ｂから1言語4単位以上修得。	
	5 学部共通部門	—	「8 その他の専攻科目」に算入する。	
	6 自由研究部門	—	「8 その他の専攻科目」に算入する。	
	7 自由選択部門	—	専攻科目として修得すべき78単位には含まれないが、「上記以外の必要単位（14単位）」には含むことができる。	
	8 その他の専攻科目	34	「7 自由選択部門」を除く専攻科目のいずれの部門から修得してもよい。 上記、専攻科目の必要単位数を超えて修得した単位がある場合は、それを算入することができる。	
Ⅱ 共通科目 (36単位)	基幹科目 (24単位)	(1)ライフデザイン領域科目	4	◎印のキリスト教学Ⅰ・Ⅱは必修。
		(2)リテラシー領域科目	10	①外国語 【第一外国語】 英語10単位、又はフランス語、ドイツ語、中国語、韓国語のうちいずれか1外国語初級6単位及び中級4単位以上修得。母語は履修不可。
			6	【第二外国語】 第一外国語を除く1外国語初級6単位、又は英語6単位）以上修得。母語は履修不可。
			2	②データサイエンス科目 ◎[遠隔]データリテラシーは必修。
			1	③スタディスキル科目 ◎[遠隔]スタディスキルⅠ（基礎・学びの基本）は必修。
			1	④ヘルスリテラシー科目 ◎ヘルスリテラシーは必修。
	教養科目 (12単位)	(1)人文科学	4	4単位以上修得。
		(2)社会科学	4	4単位以上修得。
		(3)自然科学	4	4単位以上修得。
		(4)超域科学	—	「その他(14単位)」に算入する。
	上記以外の必要単位 (14単位)	—	14	専攻科目及び共通科目のいずれから修得してもよい。 上記、専攻科目から78単位、共通科目から36単位を超えて修得した単位がある場合は、それを算入することができる。
	卒業に必要な総単位数		128	—

(注意)

- 修業年限（4年）以上在学しなければ卒業することができません。学士入学生や転編入学生は、修業年限が異なりますので、西南学院大学学則第18条を参照してください。
- 各年次の履修単位数は、以下のように制限されています。

1～2年次	38～44単位
3年次	34～44単位
4年次	18～44単位（4年次は最低単位数以下でもよい。）
5年次以上	1～52単位
- 教育職員免許状、博物館学芸員資格、司書教諭資格を取得希望の学生は、上記の他に必要な単位を修得しなければなりません。